

きょうと介護・福祉ジョブネット チーム活動方針（案）について

仕事理解促進チーム 平成 29 年度活動方針(案)

- 活動目的 介護・福祉の仕事が将来、子どもたちの職業選択の1つとなるよう、理解促進に資する事業を広域的に推進。さらに、進路決定をする上で重要な立場にある、中学・高校教員・保護者等に対して、理解促進事業を企画・実施
- 活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>
- ・小中高生の進路選択において、重要な立場にある教員へ福祉職場理解のためのセミナー開催
 - ・介護・福祉職場の受入れ担当者に対する、効果的な受入れ実践例の普及啓発
 - ・小中学生による福祉体験や福祉職場で働く人へのインタビューなどを実践する学校の拡大及び実施校による合同発表会・パネルディスカッション等
- メンバー構成 小中高校生の介護・福祉体験事業等の受け入れや、地域教育関係者との交流を実践的に行っている団体・事業所・施設の方
- ※その他、認証事業者からメンバー2～3名を公募予定

業界育成チーム 平成 29 年度活動方針(案)

- 活動目的 福祉業界を“他産業との競争に負けない”業界とし、特に若者の参入を促進するため、業界の魅力を発信できる人材の育成及び活用に関する検討・取組を行う。
- 活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業への参画>
- ・業界の魅力発信人材の育成及び活用に係る効果的な手法等について検討を行い、「きょうと福祉人材育成認証制度」を核とする府人材確保事業等と連携し、その検討結果を実践的な取組として反映していく。
- 【福祉職場インターンシップ、業界の魅力発信や採用力向上に資する研修 等】
- メンバー構成 若者への効果的な魅力発信等、人材確保に関する課題に対する取組について検討し、府事業等の場実践的に関われる方(中堅職員以上)
- ※その他、認証事業者からメンバー2～3名を公募予定
- ※コーディネーター1名を配置予定

北部福祉の学びチーム 平成 29 年度活動方針(案)

- 活動目的 北部地域の魅力や学びの環境を活かし、特に高校生(高校教員を含む)の福祉理解促進に向けたツールづくりに取り組み、福祉職場への就職につなげる。
- 活動内容 <2ヶ月に1回程度の会議開催>
・福祉施設職員等の視点を盛り込んだ“福祉の教科書”づくり
・府北部地域における仕事理解促進事業と連携した取組
【高校出前講座、福祉職場見学ツアー、高校教員向け進路指導セミナー 等】
- メンバー構成 福祉の学びや福祉職の魅力発信について検討できる方
- 今回募集 <介護・福祉関係団体(介護協除く)>
北部の事業所等において3年以上の実務経験を持つ方
- 別途調整予定 <介護協> 舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校
<行政> 京都府北部地域の市町職員(福祉部局・3市町程度)
※その他、認証事業者からメンバー2~3名を公募予定
※コーディネーター1名を配置予定